

墨田区議会

墨田区議会自由民主党会派報 Vol.96

SUMIDAKU ASSEMBLY LIBERAL DEMOCRATIC PARTY DENOMINATION REPORT

自由民主党だより

CONTENTS

- 令和6年9月定例会 代表質問 井上ひろき議員
- 一般質問 大門しろう議員
- 一般質問 たきざわ正宜議員
- 常任委員会トピックス
- 特別委員会報告



令和6年度、決算特別委員会が開かれました

令和5年分の決算審議のため10月3日から28日に開かれ、**区民の安全確保や行財政改革の成果を評価しつつ、DX推進、物価高騰対策、子育て支援の充実、持続可能なまちづくりの強化を要望しました。**

さらに、**不適切事案の防止や財政基盤の強化、積極的な投資を次年度予算編成に求め、迅速な課題解決を図ることを提言し、委員会として賛成多数により認定すべきものと決定しました。**

■発行／墨田区議会自由民主党(墨田区吾妻橋1-23-20)
 ■発行責任者／坂井ユカコ ※ご意見ご要望をお待ちしております。



災害対策・DX調査特別委員会

本区の避難所運営及び防災DXの現状について

本区の指定避難所運営の現状及び指定避難所別の備蓄物資の状況等について理事者から説明を徴取したのち、質疑応答等を行いました。今後は区民との意見交換会を行い、課題を明確にしつつ、DXの推進を図っていきます。

先進自治体管外行政調査について

災害対策におけるDX化先進自治体である大垣市・豊橋市の管外行政調査を行いました。避難所受付支援システムや防災備蓄管理システム、ドローンやSpecteeProを活用した防災DXの取り組みについて調査しました。



議会改革・議会広報改革特別委員会

区民等との意見交換会を開催しました

議会改革・議会広報改革特別委員会では、議会棟のバリアフリー化について調査研究をしています。検討に当たり、墨田区肢体不自由児者父母の会の皆様や墨田区子ども・子育て会議の皆様を本会議場にお招きし、委員と意見交換を行いました。

墨田区議会のさらなる活性化に向けて

議会改革度ランキング都内第一位の本区の取組を視察する自治体を多く受け入れました。現在は議会だよりの見直し、フリースピーチ制度、通年議会における議決事件の整理等について、検討シートを活用して各会派の意見集約を進めています。



放課後・幼稚園の在り方調査特別委員会

本区の放課後子ども教室事業の現状について

本区で開催されている放課後子ども教室の現状について把握し、今後は区民の方と意見交換を重ねつつ、視察した宝塚市や板橋区で行われている事業を参考にしながら、本区にあった放課後子ども教室事業を推進していけるように尽力していきます。

区立・私立幼稚園の今後の在り方調査について

幼稚園に通う園児が減少している中で、本区としてどのように認識し対応していくのか、課題を抽出すべく意見交換を行っていきます。視察した武蔵野第一・第二幼稚園などを参考にしながら、今後どのような形が適しているのか議論していきます。



地域公共交通等調査特別委員会

より良い交通計画を目指して

交通弱者の方が利用しやすいバス停上や、ベンチの設置等交通環境づくり、道路、駅構内、車両等のバリアフリー化の推進。またDXを活用した乗り継ぎ情報のデジタルサイネージ等委員会として提言書への反映を提案しました。

公共交通の利便性の為に

交通弱者の為にタクシーの補助サービスを全市内に導入、官民連携によるシェアサイクルの運営、JR東日本と共同による実証実験等を行っている群馬県のGun MaaSの取り組みについて前橋市役所にて視察を行い研究しました。

 たきざわ 正宜 ・企画総務委員会委員長 ☎ 墨田5丁目34-11 ☎ 03-5247-5202 災害に強く人にやさしい街墨田へ	 坂井 ユカコ ・幹事長 ・議会運営委員会委員長 ☎ 東駒形2丁目2-4 ☎ 090-3617-4313 長く安心！進める力！	 しもむら 緑 ・監査委員 ☎ 電沢4丁目22-8 ☎ 080-2443-0212 医療・防災・防犯の強化 教育の充実	 佐藤 篤 ・区議会議長 ☎ 京橋3丁目9-10-101 ☎ 090-8567-8293 政策・実績で応えます	 福田 はるみ ☎ 業平4丁目5-16 ☎ 03-3618-6125 区民満足度100%を目指します！
 井上 ひろき ・副幹事長 ・区民福祉委員会副委員長 ☎ 文花2丁目4-7-2F ☎ 070-8998-9021 デジタル改革で区民の利便性向上を！	 あべよしただけ ☎ 京橋3丁目53-2 ☎ 090-9324-1582 傾聴と対話で墨田区をすまやすく！	 大門 しろう ☎ 文花2丁目3-7 ☎ 03-3618-6125 子ども達の未来のために！	 堀 よしあき ☎ 墨田4丁目19-10 ☎ 090-7218-9569 議会改革をさらに前へ！	 藤崎 こうき ・副幹事長 ・地域産業都市委員委員長 ☎ 向島5丁目43-18 ☎ 080-4354-1602 やる気・元気・藤崎こうき
 小林 しょう ☎ 東向島6丁目45-7 ☎ 090-8174-1663 住みよい「すみだ」をあなたとともに	 稲葉 かずひろ ・企画総務委員会副委員長 ☎ 吾妻橋1丁目23-20 ☎ 080-9462-1989 受け継がれたすみだを未来にげます	 加藤 ひろき ・副幹事長 ・子ども文教委員会副委員長 ☎ 東向島3丁目15-21 ☎ 090-5399-0322 あなたの声で、すぐ動く！	<h1>すみだ自民党 議員紹介</h1> <p>ご意見おきかせください</p>	

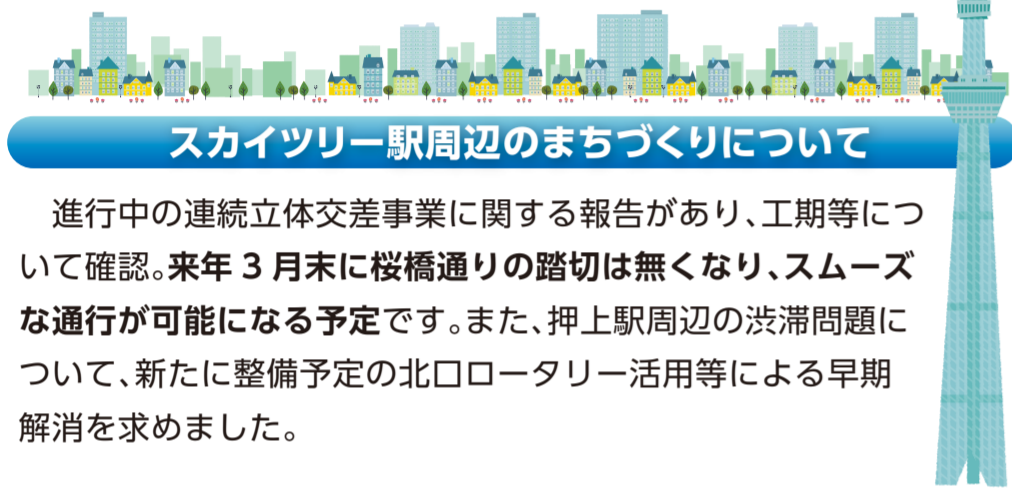
常任委員会トピックス



地域産業都市委員会

水と緑のネットワークの拡充について

墨田区は水と緑のネットワークの拡充を目指し、都による河川整備の進捗に合わせ、総面積約40,000㎡の河川テラスの公園化や歩行空間整備によるネットワークの形成を目指しています。会派からは、財政推計の考え方や都からの特別交付金の活用について言及しました。



スカイツリー駅周辺のまちづくりについて

進行中の連続立体交差事業に関する報告があり、工期等について確認。来年3月末に桜橋通りの踏切は無くなり、スムーズな通行が可能になる予定です。また、押上駅周辺の渋滞問題について、新たに整備予定の北口ロータリー活用等による早期解消を求めました。



企画総務委員会

「墨田区総合的人事戦略」の策定について

人材確保、育成、働き方改革、職場環境整備に関する主要取組みは順調に進展しており、オンライン説明会の活用拡大、研修内容の多様化、テレワークの試行成功、健康経営優良法人認定の報告がありました。今後もこれらの方針を継続し、更なる改善を求めました。

公民学連携の取組状況について

公民学連携に関する協議では、千葉大学やIUとの連携強化、SDGs啓発事業の進展、地域住民の参加促進が確認されました。今後は住民参加をさらに拡大し、高齢者や子ども向けのプログラムを充実すること、他にも企業との新たな連携の模索を強く求めました。



子ども文教委員会

墨田区認定こども園条例を廃止する等の条例

2園が認定こども園から認可保育園に変更になるということで、認定こども園ならではの取組が予算的な面も含めて、移行後も教育や保育の質が変わらないようしっかりと対応は図れるのか確認。教育・保育の提供の質を尚一層充実していくという答弁でありました。

認可保育所における事故防止の整備費

再発防止検討委員会の提言を受け、1園あたり10万の補助を行う対応が早急になされたが、これに終わらず各園の状況をよく確認し、来年度予算に組み込むことを引き続き検討するよう提言。また職員研修のあり方も協議しました。



区民福祉委員会

乳幼児健診向けタクシー券の配布について

令和6年11月5日からすみだ保健子育て総合センターが開設されました。それに伴い、向島、本所の保健所が統合されるため、開設当初はアクセスが不便になる懸念を伝えました。特に荷物などが多い乳幼児健診には、タクシー券の配布を要望しました。

マイナンバーカードと健康保険証の一体化について

令和6年12月2日から健康保険証の新規発行が終了します。現行保険証は有効期限まで使用可能で、マイナンバーカードとの一体化以外に「資格確認書」の選択肢も用意。利便性や災害時の有用性を説明しつつ、区民の皆様丁寧に理解を促すよう要望しました。



問 地球温暖化に伴い猛暑日が増加し、子供の熱中症リスクが高まっている。プールの上昇対策や空調設備のある体育館開放を通じ、安全かつ快適な環境で子供を守るための抜本的な熱中症対策を要望する。

答 猛暑による熱中症リスク増加を認識している。現在の夏季水泳指導は水温上昇で困難。今後、空調施設の開放などを含め、**区と連携し子供の運動機会と安全**

抜本的な熱中症対策について

問 わんぱく天国の今後の展開について、プリーリーダー研修の実施状況、施設改修計画、指定管理者制度導入の検討状況について問う。

答 プリーリーダー研修は年内実施予定。施設改修は千葉大学と協力し早急に進め、老朽遊具を撤去・リニューアルする。指定管理者制度は他区の事例を参考に検討中。リニューアル時に導入を目指し、「こどもまんなかすみだ」に適したプリーパークを目指す。

わんぱく天国の改善について

問 近年、災害リスクへの関心が高まっている。これを受け、東北や熊本事例を踏まえ、小中学校に事前通知なしの防災訓練を導入し、児童生徒が迅速かつ的確に災害時に対応できる能力を養成することを提案する。

答 児童生徒の災害対応能力の育成は重要と考え、各区分小中学校では年間を通じて様々な避難訓練を実施している。事前通知なしの防災訓練は校長会と協議し、今後の実施を検討する方針である。

新しい形の学校防災訓練導入について

問 民泊施設増加に伴い、無人型民泊の管理体制や災害時の対応に懸念が高まっている。騒音やゴミ問題、緊急時の対応困難などの課題を踏まえ、区としての管理強化や災害対策について問う。

答 事業者への指導や現地チェックを強化する。既存施設には連絡・駆けつけ体制を確認、新規施設には具体的対応方法を義務付けるなど、住民の不安解消を図る。災害対策では、非常用設備の設置確認や避難誘導方法の指導を行う。

家主不在の民泊への対策について

代表質問



井上ひろき 議員



動画で見る!

な居場所の確保、熱中症対策を検討する方針。

一般質問



大門しろう 議員



動画で見る!

AEDの設置強化と屋外設置について

問 区民の命を守る観点から、公共施設、特にスポーツ施設への設置強化と共に、現在公共施設に備え付けられているAEDの屋外設置による24時間対応を進めるべきと考えますが、区長のご所見を伺う。

答 これまでも活用の可能性が高い公共施設に設置してきたが、今後も必要性に応じ適切に配置していく。また、屋外設置による24時間対応についても、様々な課題を整理し検討を行っていく。

校庭改修における人工芝の導入について

問 ①次年度の校庭改修は人工芝の校庭とする考えはあるか。②人工芝の校庭を選択した場合、学校やPTA、地域の声を最大限取り入れていただけるのか、教育長にご所見を伺う。

答 ①来年度に工事を行う寺島中学校及び外手小学校で人工芝舗装を導入予定である。②学校現場やPTA等へも情報提供を行いながら整備を進める。

雨水活用で未来を守る！すみだの挑戦

問 本区では、過去40年間雨水活用を推進し、国際的に高く評価されてきた。しかし近年、PRや区民の認知度が低下していると感じる。この全国大会を機に、墨田区の雨水活用を国内外に再発信し、さらなる推進策を講じる必要があると考えるが区長の見解を伺う。

答 全国大会の開催は非常に有意義であり、墨田区の雨水活用の歴史と取り組みを再発信する良い機会となった。今後、PRの充実や雨水活用の見える化を進め、認知度向上を目指す。さらに、助成制度の見直しや新たな施策の検討を進め、次世代に豊かな水循環を引き継ぐために、雨水活用を強化する。

日本各地で水害発生！命を守る避難計画を

問 今年は記録的な大雨が日本各地で発生し、本区においても水害対策の強化が必要だと感じる。特に、荒川の氾濫が危惧される際、広域避難や要配慮者への支援が重要である。水害対策強化の考えを伺う。

答 区では、荒川の氾濫が予測される際、迅速に広域避難を促し、要配慮者のために福祉バスを手配して安全な避難を支援する。また、状況に応じて自主避難施設を開設し、区民の不安を解消するための対策を進める。



たきざわ正宜 議員



動画で見る!